

学科課程カリキュラム 及び 授業計画

【教職課程科目】

[履修にあつたての遵守事項]

我が国の大学教育は単位制度を基本としており、1 単位あたり 45 時間の学修を要する内容をもって構成することが標準とされている。ここでいう1 単位あたりの学修時間は、授業時間内の学修時間だけでなく、その授業の事前の準備学修・事後の準備復習を合わせたものとなっている。この主旨を踏まえ、各教科の履修に当たっては、授業計画を参考に予習・復習に努め、1 単位当たりの学修時間を確保することに努めること。

2 0 1 9 年度

第一工業大学

(10) 教職課程科目

教育の基礎的理解に関する科目等

凡例		☆：教職必修 無印：教職選択（但し、教科科目は適用外） ②：集中講義 中技：中学校技術 高工：高校工業														
科目区分	科目番号	授業科目	科目単位	週授業時間数								区分最低 修得単位		免許別必修 ・選択区分		備考
				1年		2年		3年		4年		中学	高校	中技	高工	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教育の基礎的理解に関する科目	6561	教育原理	2		2							11	11	☆	☆	
	6511	教師論	2	2										☆	☆	
	6562	教育経営論	2				2							☆	☆	
	6514	教育心理学	2			2								☆	☆	
	6529	特別支援教育論	1				①							☆	☆	
	6515	教育課程論	2				2							☆	☆	
道徳に徒間、関する、指導的科目及び学習	6524	道徳教育	2						2			10	8	☆		中免のみ必修
	6530	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2					2						☆	☆	
	6564	教育の方法と技術	2					②						☆	☆	
	6527	生徒指導・進路指導論	2						2					☆	☆	
	6528	教育相談	2					2						☆	☆	
教育実践に関する科目	6544	事前・事後指導	1							1		7	5	☆	☆	
	6545	教育実習Ⅰ	2							②				☆	☆	
	6546	教育実習Ⅱ	2							②				☆		中免のみ必修
	6547	教職実践演習（中・高）	2								2			☆	☆	
		計										28	24			

教科番号	6561	授業科目名	教育原理				
教員の免許状取得のための必修科目							
開講時期	1 年後期	単位数	2 単位	担当教員名	岩橋 法雄	担当形態	単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想				
【授業の到達目標及びテーマ】							
学校における教育活動は、ひとりひとりの人間の成長・発達のもとより、国家・社会の発展に関わるものでありその教育の成否は教員の資質能力に大きく左右される。そこで、教育の理念や実践知を、教育の歴史や思想を生み出した社会的背景の中で理解を深める。そして教員を志す学生が、これまでの教育や学校の営みが果たしてきた役割を客観的に理解し、今後の教育のあり方を展望する資質能力獲得することを目指す。							
【授業の概要】							
教育の本質や目的、教授理論などを歴史的・実証的に学習する。その際、社会的教育現象は決して歴史社会から切り離されたものでないので、西洋教育史や日本教育史の時系列における学習と、今日社会の教育課程や学習指導要領などの学校教育の実践を学習する。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容		学習課題（予習・復習）		時間(分)	
1	教育の本質を考える	基 本 的 概 念 で あ る education と indoctrination との違いを理解する		配布プリント(該当箇所を指示) を読む。授業プリントを復習。		3 0 6 0	
2	人間(人類)の発達と言語の役割	家族と社会における教育の基本的意味（時間と空間を超えての情報・技術の伝達）。言葉の構造		テキスト(該当箇所を指示する)を読む。 授業プリントを復習。		6 0 6 0	
3	教育と、子ども・人間の発達	赤ちゃん学から information seeker としての人間存在の本質／人間的環境（親、学校、地域社会など）の重要性を学ぶ。		テキスト(該当箇所) を読みまとめる。 授業プリントを復習。		3 0 6 0	
4	発達環境としての人間的社会)	「狼に育てられた少女」の話の真偽と、学ぶべき教訓		テキスト(該当箇所) を読みまとめる。 小テストの準備。		3 0 6 0	
5	西洋教育思想の展開と社会背景(1)	ソクラテスの教育思想と方法。西洋中世の共同体と人間		テキスト(該当箇所) を読みまとめる。 授業の復習をする。		6 0 6 0	
6	西洋教育思想の展開と社会背景(2)	イタリアルネサンスと人間的自然の思想、欲求の人間の覚醒		ルネサンスの美術などを調べ、何が「欲求的」か、を考えて発表。 発表されたものをまとめる		1 2 0 6 0	
7	西洋教育思想の展開と社会背景(3)	北方ルネサンスと人間の経験的知の重視		配布プリントを読みまとめる。 とりわけ「神の支配」から脱する人間の実践を考える		6 0 6 0	
8	近代教育原理としての 2 本の柱及びルソーとペスタロッチの教授法	1～7 回までの総復習として「2 本の柱」(歴史を貫く教育的人間の思想) をディスカッション。 「自然人」の教育、開発教授法		ディスカッションの内容をまとめる。 期日設定し、提出する		3 0 6 0	
9	産業革命と教授法の改革、近代教育制度の成立と展開	助教法。ヘルバルト教授法。義務教育及び公教育の思想：unpopular education から権利としての教育へ		テキスト(該当箇所) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0	
10	公教育制度の発展と整備（教育及び学校の変遷）：	公教育の制度的整備と、多様の教育実践の試み（ニール、モンテッソーリ等）、世界新教育運動など。		テキスト(該当箇所) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0	

11	日本教育史での unpopular education について	寺子屋教育と識字率の向上、明治維新後の 近代教育の意味	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30分 60分
12	戦後日本の教育改革	戦後教育改革、学習指導要領の意味と変遷	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 演習問題の取り組みと提出	60分 120分
13	今日日本の教育問題	「ゆとり世代」の諸問題。学力問題。 PISA 学力とは？	配布プリントを読み、意見・感想を 発表する準備。 授業のまとめ	60分 60分
14	特別支援教育の諸問題	小1 プロブレムなど問題を抱えた子どもの 発見・対応。ディスカッション	授業のまとめ。ディスカッションの 内容をまとめる。 期日設定し、提出する。	60分 120分
15	発達障害を理解する	小1 問題を想起しながら、発達障害の基本 を理解する。学級での包摂と自立を考える。	いろいろな障害の種類と、これまで であった経験を書いてくる。自 分が障害を持っていたらという 想定で教育を考えてみる。	60分 60分
	定期試験			
【テキスト】 蔭山雅博・國枝マリ他編『はじめて学ぶ教育の原理』（学文社） 随時、関連資料を配付				
【参考書・参考資料等】 教育開発研究所編『教育の最新事情がよくわかる本3』（教育開発研究所）				
【学生に対する評価】 レポート（15%）、小テスト（15%）、試験（70%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6511	授業科目：教師論（ Ethics for Teachers ）				
教員の免許状取得のための必修科目						
開講時期	1 年前期	単位数	2 単位	教員名 岩橋 法雄	担当形態	単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目					
施行規則に定める科目区分又は事項			教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む)			
【授業の到達目標】 「教育は人なり」と言われるように、人を育てる教師の存在は、何時の時代にあっても教育を受ける者にとっては重要な存在である。そこで、教員を志す学生が、教員の職責の大きさを認識し、資質の向上を図り、使命感などを確立して教育的情熱を持って教員となるよう、講義全体を通じて指導する。						
【授業の概要】 教職の意義や役割、教師の歴史や教師像、教員の職務内容、進路指導について学び、教員としての資質能力 を高めるとともに、教職に対する愛着や誇り、教員の使命感や責任感、倫理観などについて理解し、考察する。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。						
【授業要旨】						
回数	題 目	授 業 内 容		学習課題（予習・復習）		時間(分)
1	教職の意義と役割	人間形成における教育の必要性、教職の社会的意義や役割		テキスト(該当箇所を指示する)を読む。授業プリントを復習。		3 0 6 0
2	教師の歴史と教師像	近代国民教育制度（公教育）の中での教職の成立		テキスト(該当箇所を指示する)を読む。授業プリントを復習。		6 0 6 0
3	教員の資質能力	教師の専門性と、教職の専門職性		テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業プリントを復習。		3 0 6 0
4	教員養成制度の歴史と変遷(1)	戦前日本と戦後日本の教員養成：聖職論、労働者論、専門職論の比較検討		テキスト(該当箇所)を読みまとめる。小テストの準備。		3 0 6 0
5	教員養成制度の歴史と変遷(2)	「でもしか」教師の克服と、専門性の向上：専門職としての社会的成立の背景と意味		テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の復習をする。		6 0 6 0
6	1 回～ 5 回までのまとめ	自分の目指す教師像を「授業力」の錬磨という視角から発表し合い、ディスカッションする		ディスカッションの内容をまとめる。期日設定し、提出する。		1 2 0 6 0
7	教育公務員としての教員の服務	「使命」の意味。身分上の義務と職務上の義務。校務分掌の理解と、チームの一員としての学校諸活動に果たす役割		配布プリントを読みまとめる。授業の内容を復習する。		6 0 6 0
8	指導が不適切な教員の人事管理	研修制度の必要性の理解。免許更新制度等の理解。		配布プリントを読みまとめる。授業の内容を復習する。		3 0 6 0
9	生徒に対する教	懲戒の範囲と体罰。不登校対		テキスト(該当箇所)を読みまと		3 0

	師の行為(1)	策。	める。授業の内容を復習する。	6 0
10	生徒に対する教師の行為(2)	いじめ問題への対応 児童虐待への対応	テキスト(該当箇所)を読みま める。授業の内容を復習する。	3 0 6 0
11	教員間の有効な協力関係づくり	いじめも虐待の問題も、その他さまざまな教育活動も、校長や関係主任の指導の下、とりわけ学年での集団的な協力の中で対応することの望ましさを理解する。	さまざまな教育問題の事例を新聞報道などで抽出し、纏めてきて発表する。 議論とまとめを整理して、提出する	6 0 1 2 0
12	学級経営(1)	学級経営の計画, 生徒の実態把握, 保護者との連携	配布プリントを読み、意見・感想を発表する準備。授業のまとめ。	6 0 6 0
13	学級経営(2)	小 1 プロブレムなど問題を抱えた子どもの発見・対応。ディスカッション。	授業のまとめ。ディスカッションの内容をまとめる。期日設定し、提出する。	6 0 1 2 0
14	発達障害を理解する	発達障害の基本を理解する。学級での包摂と自立を考える	配布プリントを読みまとめる。授業の内容を復習する。	6 0 6 0
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	6 0 6 0
	定期試験			
【テキスト】 新教師論 久田俊彦他編著 ミネルヴァ書房				
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜配布する。 汐見稔幸他編著『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房				
【成績評価基準・方法】 レポート (15%)、小テスト (15%)、試験 (70%) で総合的な評価を行う。				

教科番号	6562	授業科目：教育経営論					
教員の免許状取得のための必修科目							
開講時期	2 年後期	単位数	2 単位	担当教員	岩橋 法雄	担当形態	単独
科 目		教育の基礎的理解に関する科目					
施行規則に定める科目区分		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)					
【授業の到達目標】 教育の成果や教員の資質能力を高めるため、教員が、日本国憲法や教育基本法等の諸法規に基づいて教育が推進されていることを理解し、認識する必要がある。そこで教員を志す学生が、近代学校制度や学校教育に関わる諸法規等を理解し、教育の基礎理論を身につけて教員となるよう、講座全体を通じて教育指導を行う。							
【授業の概要】 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を学習して教育制度や学校経営等を理解するとともに、教育基本法や学校教育法等の諸法規についても学習を深め、教育を法的に考察させるようにする。 また、日本及び諸外国の教育改革の現状を概観する。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）		時間(分)		
1	学校の歴史的性格	学校の概念、私教育から公教育へ	テキスト(該当箇所を指示する)を読む。授業プリントを復習。		3 0 6 0		
2	学校制度の構造	近代国民教育制度（公教育）の成立と分岐システム	テキスト(該当箇所を指示する)を読む。授業プリントを復習。		6 0 6 0		
3	日本の学校制度、戦前と戦後。	国民教育の理解を深める 制度図の違いを読み取る	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。復習と小テストの準備。		3 0 6 0		
4	教育行政の成り立ちとあり方	英米型と大陸型の行政観の違いと意味を理解する。	プリントの行政関連英語句・用法を自分で調べて訳してみる。 提出。		3 0 6 0		
5	教育基本法と教育行政の基本	特に教育内容行政の原理を理解する。小テストの実施。	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の復習をする。		6 0 6 0		
6	教育委員会制度の成立と変容	教育委員会の組織と構成、を理解する：父母代表の教育委員の意味	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の内容を復習する。		3 0 6 0		
7	教育委員会の改革と権限	教育振興基本計画の意味と教育委員会の果たす役割	配布プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		1 2 0 6 0		
8	教員のサービスの基本的考え方	全体の奉仕者という理念の理解 身分上の義務、職務上の義務を事例を交えて理解させる。	配布プリント（事例、飲酒運転など）を読んで考えてこさせる。 サービスを法規を根拠に纏めさせる。		3 0 6 0		
9	学校経営(1)	学校教育活動の年間の流れ	テキスト(該当箇所)を読みまと		3 0		

		と、まとまりとしての「学年」の果たす役割の理解。校長の権限と職員会議、学校評議員制度。	める。授業の内容を復習する。	60
10	学校経営(2)	学校経営の基本、子どもの学校生活と校務分掌。教職員の種類と職務。評価制度の意義とあり方、PDCA の理解。	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
11	学校経営(3)	コミュニティ・スクールの意味：安心・安全な学校づくりと地域づくりへの参加	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	60 60
12	学級経営	学級経営の計画、生徒の実態把握、保護者との連携。いじめへの対応。	配布プリントを読み、意見・感想を発表する準備。授業のまとめ。	120 60
13	現代日本の学校教育	学力向上の問題（PISA の学力の意味）と、選択制度の拡大	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
14	諸外国の教育改革	世界の改革動向で何が問題となっているかを理解する。	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	60 60
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	60 120
	定期試験			
【テキスト】 『新訂第3版 図解・表解 教育法規』、坂田仰他編、教育開発研究所				
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜配布する。 教育開発研究所編『教育の最新事情がよく分かる本3』				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6514	授業科目名	教育心理学（ Educational psychology ）				
教員の免許状取得のための必修科目							
開講時期	前 期	単位数	2 単位	担当教員名	平井正三郎	担当形態	単独
科目	教育の基礎的理解に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				
授業の到達目標及びテーマ							
「人格の完成」を第一の目標とする学校教育において、心理学的知識は教育実践にとって重要である。それは「生きる力」（知・徳・体のバランスのとれた力）の養成にも同様で、知能・学習、情緒・人格、成長・発達等、心理学の諸理論とそれを活かした実践力の育成を目的にし、以下の3点を主な目標とする。							
① 教育心理学全般の基礎的・基本的な知識を理解する。							
② 心理学的な知識、見方や考え方を、生徒と保護者、職場や地域との対人関係性に役立てる。							
③ 教育心理学の知識、見方・考え方を授業づくりやクラス運営などに活かそうとする。							
授業の概要							
知育・徳育・体育の三位一体によって人格の完成をめざす教育を実践するという教師の使命を、心理学の諸理論や具体的実践例の学習を通して、「わかる」から「できる」への「教師力」が身につけられるような授業展開をする。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）			時間(分)	
1	オリエンテーション	授業全般のガイダンス、自己紹介（他者紹介）など	シラバスを読んでまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			30 60	
2	記憶力がいいとは どういうことか	記憶と忘却（テキスト第1章）	テキスト（第1章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			60 45	
3	学ぶことと考える こと	学習（テキスト第2章）	テキスト（第2章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			60 45	
4	ほめることの大切 さ	叱る・怒る・勇気づける（テキ スト第3章）	テキスト（第3章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			45 60	
5	「やる気」を考え る	モチベーション〔内発・外発〕（テ キスト第4章）	テキスト（第4章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			45 60	
6	学級という社会	個人と集団（個と場）、関係性（テ キスト第5章）	テキスト（第5章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			60 45	
7	何をどのように教 えるか	アクティブ・ラーニングへ変革 （テキスト第6章）	テキスト（第6章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			60 60	
8	児童・生徒をどう 評価するか	教育評価（絶対評価と相対評価） （テキスト第7章）	テキスト（第7章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			45 60	
9	人間の発達につい て考える	生涯発達の過程と個人差（テキ スト第8章）	テキスト（第8章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			45 45	
10	知的発達のメカニ ズム	生涯発達の知的側面（テキスト 第9章）	テキスト（第9章）を読みまとめる。 配布資料・授業の内容を復習する。			45 60	
11	人格発達の基礎	個性・性格、人格の完成（テキ スト第10章）	テキスト（第10章）を読みまとめる。 配布資料・授業の内容を復習する。			30 60	
12	困難を抱える子ど もたち	特別支援教育の理解（テキスト 第11章）	テキスト（第11章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			30 60	
13	いじめ・不登校問 題	競争原理と協力原理、アドラー心 理学の学校教育への活用	プリントを読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。			30 60	

14	カウンセリングマインドとは	受容・傾聴・共感の基本姿勢（テキスト第12章）	テキスト（第12章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。	30 60
15	教師のメンタルヘルス	教師のバーンアウト予防 総まとめ	プリントを読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。	45 100
	定期試験			
【テキスト】 『やさしい教育心理学第4版』（鎌原雅彦・竹綱誠一郎著、有斐閣アルマ）				
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜指示する。				
【学生に対する評価】 受講態度およびリアクションシート（30%）、小テスト（20%）、定期試験（50%）などで総合的に評価をします。				

授業科目名： 特 別支援教育論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名：雲井未敏 担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		
授業の到達目標及びテーマ さまざまな特別の支援を必要とする生徒の心身の発達や特性、学習過程などを理解し、個々の生徒を学級や学校で支援するだけでなく、家庭や地域にも支援の輪を広げていく方法を身にこつけることをめざします。そのために、以下の3点を主な目標とします。 ①特別の支援を必要とする生徒のニーズについて基礎的・基本的な知識を理解する。 ②特別の支援を必要とする生徒と保護者が地域の方々と「共生」する支援方法を理解する。 ③新しい特別な支援を必要とする生徒を理解し、支援の方法を理解する。			
授業の概要 知育・徳育・体育の三位一体によって人格の完成をめざす教育を実践するという教師の使命は、特別な支援を必要とする生徒との「共生」（共に学ぶ）姿勢を学級づくりに活かすことでより強固なものになることを、具体的実践例やアクティブ・ラーニングを通して学習します。			
授業計画 第 1 回：特別支援教育とは何か・・・『この子らに世の光を』から『この子らを世の光に』へ 第 2 回：インクルーシブ教育への流れ・・・分離→統合→包括（インクルージョン）への変遷 第 3 回：知的障害・発達障害・・・知的障害、広汎性発達障害、ADHD、LD の異同 第 4 回：視覚障害、聴覚障害、言語障害・・・視覚・聴覚・言語に障害のある方々への理解と支援 第 5 回：身体に障害のある人々・・・肢体不自由児（者）、病弱・虚弱児（者）への理解と支援 第 6 回：自閉症スペクトラム障害・・・高機能自閉症、アスペルガー障害、大人の発達障害 第 7 回：国際化の社会・・・ニューカマー、クロスカルチャー、異文化共生 第 8 回：「共生」への学級づくり・・・「みんな違ってみんないい」 総まとめ			
【テキスト】『よくわかる特別支援教育』（第2版）（湯浅恭正 編著、ミネルヴァ書房）			
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜指示する。			
【学生に対する評価】 受講態度およびリアクションシート（30%）、小テスト（20%）、定期試験（50%）などで総合的に評価をします。			

教科番号	6515	授業科目名	教育課程論（ Educational Curriculum Theory ）				
教員の免許状取得のための必修科目							
開講時期	2年後期	単位数	2単位	担当教員名	萩原 和孝	担当形態	単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）				
【授業の到達目標及びテーマ】							
教育課程の意義や編成の方法を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントの意義や必要性を理解し、教育課程全体の中での位置づけを意識した各教科等の年間指導計画・授業づくりへの意識・意欲・態度を形成し、教育課程編成能力の基礎を培う。							
到達目標：①教育課程の目的、役割・機能・意義を、学習指導要領の法的な位置づけや歴史的変遷などを含めて理解している。							
②教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し、教科等横断的な視点で「総合的な学習の時間」などの年間指導計画を作成することができる。							
③教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、PDCA サイクルなどの学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解している。							
【授業の概要】							
前半は、日本における教育課程や学習指導要領の歴史的変遷など通じて、各時代の教育課程の編成原理や社会的背景等を学び、教育課程の役割・機能・意義、教育課程編成の基本原則を理解する。中盤は、2017年・2018年に告示された新学習指導要領や中央教育審議会の答申などから、今日求められているカリキュラム・マネジメントを含む教育課程のあり方や編成の視点、地域社会との連携・協働、教育評価（学習評価・学校評価）、学校組織などについて理解する。後半は、特色ある教育課程やオルタナティブ教育などにも目を向け、教育課程のあり方についての視野を広げる。また、教科等横断的な視点にもとづいた「総合的な学習の時間」の年間指導計画作成を行う。さらに定期的に小テストを行い、知識の定着を図る。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容	学 習 課 題（予習・復習）			時間(分)	
1	教育課程の役割、機能、意義	教育課程とは。教師の専門性としての教育課程編成能力。基準としての学習指導要領の位置づけ。	テキスト(p.1～14)を読む。 授業の内容を復習する。			30 60	
2	教育課程の基本原則、類型、構造	スコープ・シーケンス、経験主義（デューイの教育観）・系統主義など。	テキスト(p.15～26)を読む。 授業の内容を復習し、小テストに備える。			60 60	
3	日本における教育課程の変遷と社会的背景（1）	前回までのふり返りの小テスト。 明治・大正・昭和初期の教育課程。	テキスト(p.27～31)を読む。 授業の内容を復習する。			30 60	
4	日本における教育課程の変遷と社会的背景（2）	学習指導要領の変遷（戦後「新教育」～教育課程の現代化）。 学習指導要領の性格・位置づけの変化など。	テキスト(p.32～35)、『学制百二十年史』（第二編第一章の概説、第二編第二章の概説）を読む。 授業の内容を復習する。			60 30	
5	日本における教育課程の変遷と社会的背景（3）	学習指導要領の変遷 （人間中心カリキュラム、「生きる力」「ゆとり」「確かな学力」など）	テキスト(p.32～35)、『学制百二十年史』（第三編第一章第一節）を読む。 授業の内容を復習し、小テストに備える。			60 60	
6	新学習指導要領改訂の背景と特徴（1）	前回までのふり返りの小テスト。 「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」「特別の教科 道徳」の新設、「教科等横断的な視点」などの背景や意義。	学習指導要領第1章総則を読む。 授業の内容を復習する。			60 60	

7	新学習指導要領改訂の背景と特徴 (2)	「資質・能力の3つの柱」について、中学校技術・家庭科の技術分野におけるそれぞれの具体例を、ブレーンストーミング・KJ法を用いて考え、整理する。	下記参考資料に示した中央教育審議会答申の第5章を読む。 「資質・能力の3つの柱」について、授業で行った整理をもとに考え、感想文を提出する。	60 60
8	教育課程と評価	評価の意義・役割。指導要録。学習評価の分類。パフォーマンス評価など。	テキスト(p.148~164)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
9	地域と学校の連携・協働	「社会に開かれた教育課程」、コミュニティスクール(学校運営協議会)、学校評議員、学校支援地域本部など。	文部科学省HPに掲載されている「コミュニティ・スクールパンフレット」を読む。 授業の内容を復習する。	30 60
10	カリキュラム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントの三つの側面(教科等横断的な視点、PDCAサイクルの確立、人的・物的資源等の効果的組み合わせ)。『学校評価ガイドライン』など。	中学校学習指導要領総則の解説(第3章第1節4)を読む。 授業の内容を復習し、小テストに備える。	60 60
11	教育課程編成と学校組織	前回までのふり返りの小テスト。教育課程編成の主体。学校組織(校務分掌)。部活動の位置づけなど。	テキスト(p.37~50)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
12	学校種ごとの教育課程編成の特徴	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・義務教育学校・中等教育学校の教育目的、教育課程の実践。小中連携・一貫教育など。	テキスト(p.51~64)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
13	特色ある教育課程やオルタナティブ教育	国内の特色ある教育課程(上越カリキュラム、私立のシュタイナー教育など)や、NPO法人、フリースクール、諸外国の教育課程の理論や実践	テキスト(p.65、165~178)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
14	教育課程の計画・実施・評価・改善	教科等横断的な視点に配慮した「総合的な学習の時間」の年間指導計画を作成し、発表する。	総合的な学習の時間などの年間指導計画を事前に入手し、それらに参考に、新規の指導計画または改善した計画を作成する。 他の受講生の発表や指摘を受けて、さらに計画を改善する。	120 60
15	まとめ	教師の専門性としての教育課程編成能力について考え、発表する。 学習のふり返りの小テスト。	発表の準備、小テストに備える。 評価試験に備える。	60 60
	定期試験			

【テキスト】 古川治ほか『教職をめざす人のための教育課程論』北大路書房、2015年

【参考書・参考資料等】 以下、いずれも文部科学省ホームページに掲載されている。

- ・中学校学習指導要領(平成29年告示、文部科学省)および総則の解説
- ・高等学校学習指導要領(平成30年告示、文部科学省)および総則の解説
- ・「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」平成28年12月、中央教育審議会
- ・『学制百年史』『学制百二十年史』。
- ・その他、随時配布または指示する

【学生に対する評価】

定期試験(50%)、第14回の発表(40%)、小テスト(10%)で総合的な評価を行う。

教科番号	6524	授業科目名	道徳教育（Moral Education）		
教員免許取得のための必修科目					
開講時期	3 年 後期	単位数	2 単位	担当教員名	藤坂 由美子
				担当形態	単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中学校技術）				
施行規則に定める科目区分又は事項等		道徳の理論および指導法			
【授業の到達目標及びテーマ】					
これまでの日本の道徳教育の歩みを踏まえながら、現在の学校教育における道徳教育の目標や道徳科の指導計画と授業実践に関する知識・技能を身につけ、教員となるための徳性の涵養と道徳教育の実践力の向上を目指す。					
【授業の概要】					
道徳および道徳教育とは何かについて、その意義や原理、道徳性の発達について理解する。また、日本の道徳教育の歴史を理解し、現代社会における道徳教育の課題について考え、学校で取り組む道徳教育や道徳科の役割、指導法と評価のあり方に関する知識や技能を身につける。					
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)	
1	道徳の本質	【授業計画】	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
2	道徳の意義と課題	道徳教育の意義と課題	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
3	道徳性の発達	道徳性の発達理論	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
4	道徳教育の歴史	日本の道徳教育の歴史① （戦前における修身教育）	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
5	道徳教育の歴史	日本の道徳教育の歴史② （戦後の教育改革と道徳教育）	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
6	道徳教育の目標	学習指導要領と道徳科の目標	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
7	道徳科の内容Aと指導法	主として自分自身に関すること （教材や授業展開の工夫）	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
8	道徳科の内容Bと指導法	主として人とかかわりに関すること （教材や授業展開の工夫）	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
9	道徳科の内容Cと指導法	主として集団や社会との関わりに関すること （教材や授業展開の工夫）	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
10	道徳科の内容Dと指導法	主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること （教材や授業展開の工夫）	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
11	道徳教育の推進	学校全体で取り組む道徳教育	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
12	道徳教育の指導計画	年間計画と学習指導案	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
13	道徳教育の評価	学習評価と教師の授業評価	テキストの予習	30	
			授業プリントの復習	60	
14	道徳科の指導	模擬授業の計画	学習指導案の作成	120	
			授業の準備	120	
15	道徳科の指導	模擬授業の実践と評価	予習、授業の準備	60	
			学習指導案の振り返り	60	
【テキスト】 柳沼良太『道徳の理論と指導法～「考え議論する道徳」でよりよく生きる力を育む～』 図書文化社（2017 年）定価2,200 円					
【参考書・参考資料等】					
中学校学習指導要領解説 道徳編 松下良平『道徳教育はホントに道徳的か？－「生きづらさ」の背景を探る－』2011 年、日本図書センター 他 授業中に随時紹介する。					
【学生に対する評価】 出席及び授業参加の状況（30%）、レポート（30%）、指導案作成と模擬授業（40%） で総合的な評価を行う。					

授業科目名： 特別活動・総合的な学 習の時間の指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：植村秀人 担当形態：単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関 する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別活動の指導法 総合的な学習の時間の指導法		
授業の到達目標及びテーマ			
1. 特別活動の意義、目標及び内容を理解する。 2. 特別活動の指導の在り方を理解する。 3. 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 4. 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力 を身に付ける。 5. 総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解する。 6. 「特別活動」と「総合的な学習の時間」の連携、地域社会との連携などについて理解し、中学 校・高校教育において実践する力を身に着ける。			
授業の概要			
「特別活動」と「総合的な学習の時間」は、関連性の高い教育活動である。同一の授業で取り上げ ることにより、相互関係を深く理解し、相互を融合した教育を行える資質の形成を目指す。 まず、授業冒頭において「特別活動」と「総合的な学習の時間」の歴史・教育的生き及び関連性に 触れる。 その後、「特別活動」領域では、「特別活動」の意義、目標及び内容を理解、特別活動の指導の在 り方を理解する。これにより、「特別活動」の教育的意義を理解し、実際の指導が行える資質を身に 付ける。 次に「総合的な学習の時間」では、意義や各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理 解、指導計画作成の考え方の理解し、実践実現のために必要な基礎的な能力の形成、指導と評価の考 え方、実践上の留意点を理解する。これにより、「総合的な学習の時間」の授業編成から実施までを 行うことができる能力を形成する。 最後に、「特別活動」と「総合的な学習の時間」の関連性と相互連携や両教育活動における家庭 ・地域住民・関係機関との連携を理解し、より充実した教育実践を目指す、教員としての視点を形成 する。			
授業計画			
第1回：「特別活動」と「総合的な学習の時間」の歴史および教育的意義			
第2回：「特別活動」の概要－教育目標と内容（学習指導要領の理解）－			
第3回：「特別活動」の教育課程における位置づけ			
第4回：「特別活動」の各分野理解－学級活動・HR活動、生徒会、学校行事など－			
第5回：「特別活動」の指導の基本－教育課程全体からの視点と各分野の指導－			
第6回：「特別活動」の指導改善－授業評価と授業改善－			
第7回：「特別活動」と話し合い活動－集団における討議とその指導－			
第8回：「総合的な学習の時間」の概要①－教育目標と内容（学習指導要領の理解）－			
第9回：「総合的な学習の時間」の概要②－他教科・活動との連携－			

第10回：「総合的な学習の時間」と教育課程―他教科などとの関連と年間指導計画―

第11回：「総合的な学習の時間」の授業計画―単元計画と深い学習の実現―

第12回：「総合的な学習の時間」の指導の実際―指導計画と実際の実践例―

第13回：「総合的な学習の時間」の指導改善―授業評価と授業改善―

第14回：「特別活動」と「総合的な学習の時間」の関連性と相互連携

第15回：「特別活動」と「総合的な学習の時間」と地域

―家庭・地域住民・関係機関との連携、地域資源の活用―

テキスト

配布資料を基に講義する

参考書・参考資料等

中学校学習指導要領、中学校学習指導要領解説（特別活動編、総合的な学習の時間編）

高等学校学習指導要領、高等学校学習指導要領解説（特別活動編、総合的な学習の時間編）

小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説（特別活動編、総合的な学習の時間編）

「特別活動指導法 改訂版」 渡部・緑川・桑原 編著 日本文教出版社

「新しい特別活動 個が生きる集団活動を想像する」 相原・新富・南本編著 ミネルヴァ書房

総合的な学習の時間（新しい教職教育講座 教職教育編） 原清治・春日井敏之・篠原正典・森田真樹

平成29年改訂 中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間 単行本 田村 学

学生に対する評価

授業毎の感想文 60点

グループワーク 10点

中間レポート（第2回～第7回 特別活動領域） 15点

最終レポート（第8回～第13回 総合的な学習の時間領域） 15点

授業科目	教育の方法と技術	教員の免許状取得のための必修科目	単位数：2単位	担当教員名：小林博典
開講時期	前期			
科目	目	教職に関する科目（道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目）		
各科目に含めることが必要な事項		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
【授業の到達目標及びテーマ】				
これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。				
【授業の概要】				
子供たちの資質・能力を育成するための教育方法、授業を構成する要件、学習評価に対する考え方について、実践事例を紹介しながら解説する。また、情報メディア活用の歩み、情報メディアの種類や機能、映像の認知等の検討を通して、教育の目的に応じた指導技術を整理した後、学習指導案を作成する。さらに、興味・関心を高めたり課題をつかませたり学習内容をまとめさせたりするための情報機器の活用法及び情報活用能力を育成する指導法について学ぶ。				
授業計画				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	資質・能力の育成と教育方法	実践事例や小学校・中学校学習指導要領を参考に、子供たちの資質・能力を育成するための教育方法の在り方について検討する。また、情報メディアの活用等、教育方法の工夫・改善について解説する。	●テキスト1の第1章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 分 45 分
2	授業の構成要件と学習環境	授業を構成する要件（児童生徒、学級、教員、教室、教材）を整理した上で、情報メディアによる学習環境の充実について解説する。また、学習評価をもとに授業の構成要素や学習環境を検討する意義について解説する。	●テキスト1の第2章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 分 45 分
3	映像等の認知と学習評価	映像等の認知の特性を整理し、学習評価をもとに、教育方法を省察する意義について検討する。	●テキスト1の第5章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 分 45 分
4	博物館・図書館と教育方法	博物館・図書館を活用した教育方法について紹介し、社会に開かれたカリキュラムについて検討する。また、学習・情報センターとしての学校図書館の役割について確認する。	●テキスト1の第4章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 分 45 分
5	教育の情報化	情報メディアの中でも、特にコンピュータやインターネットの活用に焦点を当て、学校教育における情報化の意義と歩みを整理する。	●テキスト1の第6章を読み、まとめる。 ●テキスト2の第1章との関連を整理する。	45 分 45 分
6	情報活用能力の育成	学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力を育成する意義と方法について、国内外の動向を整理しながら解説する。	●テキスト1の第3章を読み、まとめる。 ●テキスト2の第4章との関連を整理する。	45 分 45 分
7	情報モラル教育	ICT活用指導力「D 情報モラルなどを指導する能力」を解説し、情報モラル等を指導する際の留意点について整理する。	●テキスト2の第5章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 分 45 分

8	目的に応じた指導技術	ICT 活用指導力「A 教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用する能力」と「B 授業中に ICT を活用して指導する能力」について解説し、教育の目的に応じた指導技術について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ●テキスト2の第3章を読み、まとめる。 ●テキスト2の第2,7章との関連を整理する 	45 分 45 分
9	各種情報の分析・共有と学習指導	ICT 活用指導力「E 校務に ICT を活用する能力」を解説しながら、各種情報の分析・共有による学習指導等の改善について解説する。	<ul style="list-style-type: none"> ●テキスト2の第6章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。 	45 分 45 分
10	授業実践演習 1-1	プレゼンテーションソフト（フラッシュ型教材等）による教材開発と授業デザイン	●教科等のねらいを達成するために有効なフラッシュ型教材を構想する。	90 分
11	授業実践演習 1-2	教育の目的に応じた指導技術に留意しながら、学習指導案を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ●フラッシュ型教材を活用する際の生徒への働きかけ方を整理する。 ●相互評価の結果を整理する。 	45 分 45 分
12	授業実践演習 1-3	興味・関心を高めたり課題をつかませたり学習内容をまとめさせたりするための情報機器の活用法について留意しながら模擬授業を実施する。	●相互評価の結果を受け、フラッシュ型教材及び授業展開の改善方策をまとめる。	90 分 45 分
13	授業実践演習 2-1	映像コンテンツ活用を含む授業の学習指導案を作成する	●インターネット上に公開されている映像コンテンツを選択し、内容や構成の特徴を整理する。	90 分
14	授業実践演習 2-2	映像コンテンツを活用した模擬授業を実施し、相互評価を行う	●模擬授業を振り返り、映像コンテンツの活用法及び授業展開について改善方策をまとめる。	45 分 45 分
15	まとめ	教育の方法論、教育の目的に応じた指導技術、また情報メディア活用について総合的に整理し、教師に求められる力量について確認する	●ICT 活用指導力など、メディアを教育的に活用する力量を自己評価し、改善策をまとめる。	90 分
【テキスト】 ・テキスト 主体的・対話的で深い学びの環境とICT ～アクティブ・ラーニングによる資質・能力の育成～ 久保田賢一・今野貴之 編著 東信堂				
【参考書・参考資料等】 井上知義，視聴覚メディアと教育方法Ver. 2，北大路書房				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（40%）、レポート（30%）、試験（30%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6527	授業科目名	生徒指導・進路指導論（Student and Career Guidance）		
教員免許取得のための必修科目					
開講時期	後 期	単位数 2 単位	担当教員名 平井 正三郎	担当形態	単 独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等		生徒指導の理論及び方法。進路指導（キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。）の理論及び方法。			
【授業の到達目標及びテーマ】 生徒指導の原理や意義を理解し、適切な指導・援助が行えるように学習する。また、「いじめ」や不登校などの反社会的・非社会的行動の対応に関して具体的実践例を通して学習する。キャリア教育（進路指導）の原理や意義を理解し、ライフキャリアプランの理念および支援方法も学習する。さらに、アクティブ・ラーニングを取り入れた理念および支援方法も学習する。実践的な授業展開も学習する中で、以下の3 点を主な到達目標とする。 ① 生徒指導・キャリア教育（進路指導）の意義や原理、基礎的・基本的な知識を理解する。 ② 生徒指導・キャリア教育を通して、各生徒の進路実現へ関わることの重要性を理解する。 ③ 生徒個々のライフキャリアプラン達成に向けて積極的な連携・支援のあり方を理解する。					
【授業の概要】 知育・徳育・体育の三位一体によって人格の完成をめざす教育を実践するという教師の使命を、生徒指導およびキャリア教育の諸理論や具体的実践例の学習を通して、「生徒理解にはじまり生徒理解に終わる」生徒指導（進路指導含む）の本質に結びつくような授業展開をする。					
【授業計画】					
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)	
1	オリエンテーション	生徒指導・進路指導の重要性など 授業全般の概説	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
2	学校システムとしての生徒指導	生徒指導の理念とその意義	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
3	生徒指導と教育課程	教育課程や教育経営との関連	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
4	生徒指導と他機関との連携	保護者や地域や他機関などとの連携	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
5	生徒指導と法令の関係	生徒指導における法律事項	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
6	生徒指導と生徒理解	生徒理解とアセスメント	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
7	事前的な生徒指導	予防及び開発的な対応と進路指導	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
8	生徒理解と教育相談	教育相談から進路相談（進路指導）へ	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
9	非社会的行動と生徒指導	不登校問題と実践事例	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
10	反社会的行動と生徒指導①	いじめ問題と実践事例	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 100	
11	反社会的行動と生徒指導②	非行などの問題行動と実践事例	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60	
12	発達障害および緊急対応	特別支援と虐待への対応、危機管理	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
13	進路指導とキャリア教育	キャリア教育の意義と理論	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60	
14	キャリア教育の推進	職業感・勤労観の育成と進路指導	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 100	
15	キャリア教育実践	中学校・高等学校でのキャリア教育実践	授業内容のまとめと小テストの準備。 ハートの整理とまとめをする。	60 100	
	定期試験				
【テキスト】 『よくわかる生徒指導・キャリア教育』小泉令三・編著〔ミネルヴァ書房〕 『生徒指導提要』（平成22年3月）文部科学省 教育図書					
【参考書・参考資料等】 適宜、講義の中で指示します。					
【学生に対する評価】 授業態度およびリアクシート（30％）、小テスト（20％）、定期試験（50％）などで総合的な評価を行う。					

教科番号	6528	授業科目名	教育相談（ Educational counseling ）			
教員の免許状取得のための必修科目						
開講時期	前期	単位数 2 単位	担当教員名	平井正三郎	担当形態	単独
科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
【授業の到達目標及びテーマ】						
教育相談は生徒が自己理解を図って個性を伸ばし人格の完成をめざす一方、「なかま」である他者理解を深める中で、好ましい対人関係を築いて集団の中での適応力を高めることもあわせて支援する。その際、生徒の発達状況に即応し、心理的特質や発達課題を適切に捉えた教育的支援ができることを目的にし、以下の 3 点を主な到達目標とする。						
① 学校における教育相談の意義と理論を理解し、その基礎・基本的な知識を理解する。						
② 教育相談を進めるためのカウンセリングの基本的な技法を理解する。						
③ 教育相談の具体的・実践的な支援のあり方、「チーム学校」の取り組みや連携の必要性を理解する。						
【授業の概要】						
知育・徳育・体育の三位一体によって人格の完成をめざす教育を実践するという教師の使命を、教育相談や学校カウンセリングの諸理論や具体的実践例の学習を通して、カウンセリングマインドをもった「教師力」・「人間力」が身につけられるような授業展開をする。						
【授業計画】						
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）		時間 (分)	
1	オリエンテーション	教育相談の重要性など授業全般のガイダンス	テキスト（序論）を読んでまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		30 60	
2	カウンセリングマインド	教師に求められる臨床的視点、学級内での生徒理解のために	テキスト（第 1 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		45 45	
3	発達課題と教育相談	思春期・青年期の発達と支援。思春期危機とアイデンティティ	テキスト（第 2 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		60 30	
4	問題行動と教育相談	学校現場の「問題の子」への対応・支援。生徒指導と生徒理解	テキスト（第 3 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		45 45	
5	特別支援教育と教育相談	発達障害の理解と支援。「気になる子ども」等への対応と支援	テキスト（第 4 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		45 90	
6	予防・開発的な教育相談	予防・開発・教育的な事前的支援。積極的学校カウンセリング体制	テキスト（第 5 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		45 45	
7	教師のメンタルヘルス	「チーム学校」。「問題の教師」への支援。燃えつき予防	テキスト（第 6 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		45 60	
8	モンスターペアレントへの対応	「問題の親」、保護者への支援。「モンペはいない」	テキスト（第 7 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		45 60	
9	学校システムと教育相談	校内のシステムとネットワーク。臨機応変な支援体制と危機管理	テキスト（第 8 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		45 45	
10	ケースカンファ	校内研修および事例検討会の意義と役割。	テキスト（第 8 章）を読みまとめる。 配布資料・授業の内容を復習する。		45 60	
11	スクールカウンセラー	臨床心理士・公認心理師などとの連携、「チーム学校」	テキスト（第 9 章）を読みまとめる。 配布資料・授業の内容を復習する。		30 60	
12	スクールソーシャルワーカー	SC とスクールソーシャルワーカー等との協働・連携	テキスト（第 9 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		30 60	
13	「チーム学校」ケース・その1	学校内のコンサルテーション、管理職・同僚等との協働、連携	テキスト（第 10 章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。		30 60	

14	「チーム学校」 ケース・その2	学校外の医療・福祉・教育関係諸 機関との協働、連携	テキスト（第10章）を読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。	30 60
15	教師のカウンセ リングマインド	対人援助職としての「教師力」と 「人間力」、総まとめ	プリントを読みまとめる。 配布資料等・授業の内容を復習する。	30 120
	定期試験			
【テキスト】 『よくわかる教育相談』（春日井敏之・伊藤美奈子 編著、ミネルヴァ書房）				
【参考書・参考資料等】 『生徒指導提要』文部科学省 教育図書〔＊生徒指導論のテキスト〕 その他、適宜、講義の中で指示します。				
【学生に対する評価】 受講態度およびリアクションシート（30%）、小テスト（20%）、定期試験（50%）などで 総合的に評価をします。				

教科番号	6544	授業科目名	教育実習 事前・事後指導 (Prior Afterward Guidance)				
教員免許取得のための必修科目／選択科目			必修科目 (中学校「技術」, 高等学校「工業」)				
開講時期	前 期	単位数	1 単位	担当教員名	徳 永 博 仁	担当形態	単 独
科 目	教育実践に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育実習 (学校インターシップ (学校体験活動) を 1 単位まで含むことができる。)				
【授業の到達目標及びテーマ】 事前指導では教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、事後指導では教育実習で得られた成果と課題等を省察し、教員として必要な知識や技能等を自らの課題として見出し解決に取り組むことができる。これらをとおして教育実習の意義を理解することを目標としている。							
【授業の概要】 教育実習の内容や方法を情報機器等を活用して解説し、教育実習を充実したものにするためにアクティブラーニングを取り入れ理解を深める。教育実習の準備から終了までの課程を想定して実習中の様々な課題についても解説する。特に、教育実習の中心課題である授業の展開については、模擬授業を実施して知識と技術の習得に努めさらに、教育実習後には具体的な体験をもとにまとめをしていく。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容			学習課題 (予習・復習)		時間(分)
1	教育実習の目的と意義, オリエンテーション	教師養成と教育実習, 教育実習の目標, 教育実習の内容, オリエンテーション			シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
2	教育実習の事前研修	教育実習の事前研究, 教育実習の形態, 教育実習の評価項目			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0
3	教育実習の心得(遵守義務と責任)	教育実習の基本的な姿勢, 教育実習の心得			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
4	教育実習の内容 1 (観察と実態把握)	学校経営, 学校の組織, 生徒理解, 教育課程			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
5	教育実習の内容 2 (学校実務)	生活指導, 学級経営, 学校保健, 学校内外の施設と環境			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0
6	授業設計, 授業研究 (指導教員等の授業観察)	教材研究の実際, 学習指導の実際, 授業研究の実際, 生徒の実態把握と課題			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
7	教育実習直前の準備	教育実習日誌の意義, 教育実習日誌の記入の留意点			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
8	学習指導案とその書き方 (情報機器の活用)	学習指導案の形式とその書き方 (技術, 数学, 工業)			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0
9	学習指導案の作成と指導の実際 1	学習指導案の作成と模擬指導 (中学校「技術」)			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0
10	学習指導案の作成と指導の実際 2	学習指導案の作成と模擬指導 (高校「工業」機械,電気)			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0
11	学習指導案の作成と指導の実際 3	学習指導案の作成と模擬指導 (高校「工業」建築,土木)			プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0
12	事後研究 1	報告書の作成 報告会 (自己評価)			教師のあるべき姿について考察する。 課題[先輩教師の講話感想]のまとめ		6 0 6 0
13	事後研究 2	教育実習のまとめと自己研鑽課題 (教材研究,授業設計), 現職教員との懇談			提出課題のまとめ 授業の内容を復習する		6 0 6 0
14	事後研究 3	教育実習のまとめと自己研鑽課題 (学級経営と学校経営)			学校活性化方策について調べる 授業の内容を復習する		6 0 6 0
15	まとめ	授業全体を振り返り要点を確認する			配付資料の整理 授業の内容を復習する		6 0 6 0
	定期試験						
【テキスト】 テキストは特に定めない。毎時間、授業の骨子・内容に関するプリントを用意する。							
【参考書・参考資料等】 参考書：「教育実習の研究」三訂版 教師養成研究所 学芸図書株式会社 中学校学習指導要領解説「数学」「技術・家庭」, 高等学校学習指導要領解説「工業」							
【学生に対する評価】 [資料整理,課題提出,ノート取得状況, 教育実習報告会での内容及び態度] (3 5%) [定期試験] (6 5%) で総合的な評価を行う。							

教科番号	6545	授業科目名	教育実習Ⅰ（student teachingⅠ）				
教員免許取得のための必修科目／選択科目			必修科目（中学校「技術」、高等学校「工業」） ※ 中学校「技術」については、「教育実習Ⅱ」を履修すること。				
開講時期	前期	単位数	2単位	担当教員名	徳永博仁		
科目	教育実践に関する科目		担当形態	当該実習校の指導教員との連携			
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育実習（学校インターシップ（学校体験活動）を1単位まで含むことができる。）				
<p>【授業の到達目標及びテーマ】</p> <p>学校現場において指導教員を中心にした教育実習の体験をとおして、教育者としての愛情と使命感を深め、教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚し教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることを目標としている。</p>							
<p>【授業の概要】</p> <p>教育実習は、実習校において観察・参加・実習という方法で教育実践に関り、学校教育の実際を体験的・総合的に学修し、生徒の実態、学校経営及び教育活動の特色を理解することができる。また、大学で学んだ教科や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を各教科や教科外活動の指導場面で実践するための基礎を修得する。</p>							
【授業計画】							
<p>題目と授業の内容</p> <p>1 教育実習は10日間（2週間）とする。</p> <p>2 観察及び参加並びに教育実習校の理解に関する事項</p> <p>（1）生徒との関わりを通して、学級や生徒の実態を理解押し課題を把握することができる。</p> <p>（2）指導教員等が実施する授業を視点を持って観察することができる。また、事実在即して記録することもできる。</p> <p>（3）教育実習校の学校運営について、学校経営方針や特色ある教育活動とそれらを実施するための組織体制について理解できる。</p> <p>（4）学級担任や教科担任等の実務を理解し、補助的な役割を担うことができる。</p> <p>3 学習指導及び学級経営に関する事項</p> <p>（1）授業について教材研究をしっかり行い、学習指導要領及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し授業を展開することができる。</p> <p>（2）指導教員等の授業を参観することで、学習指導に必要な基礎的技術（話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成など）の効果的な活用を観察し、自らの授業でも適切な場面で情報機器など効果的に活用できる。</p> <p>（3）担任が行う朝や終了時のショートホームルーム（SHR）また、学級日誌や生活日誌など生徒との関わりを観察し、学級担任の役割と職務内容について実地に即して理解できる。また、様々な活動の場面で適切に生徒と関わるすることができる。</p>							
【テキスト】 教育実習の手引き、資料プリント							
<p>【参考書・参考資料等】 授業中に資料プリントを適宜配布する。</p> <p>中学校学習指導要領解説「数学」「技術・家庭」、高等学校学習指導要領解説「工業」</p>							
<p>【学生に対する評価】</p> <p>教育実習校から送られてくる「教育実習成績評価表」、レポート「教育実習を終えて」の評価などを総合的に評価する。</p>							

教科番号	6546	授業科目名	教育実習Ⅱ（student teachingⅡ）				
教員免許取得のための必修科目／選択科目			必修科目（中学校「技術」）				
開講時期	前期	単位数	2単位	担当教員名	徳永博仁		
科目	教育実践に関する科目		担当形態	当該実習校の指導教員との連携			
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育実習（学校インターシップ（学校体験活動）を1単位まで含むことができる。）				
<p>【授業の到達目標及びテーマ】</p> <p>学校現場において指導教員を中心とした教育実習の体験をとおして、教育者としての愛情と使命感を深め、教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚し教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることを目標としている。</p>							
<p>【授業の概要】</p> <p>教育実習は、実習校において観察・参加・実習という方法で教育実践に関り、学校教育の実際を体験的・総合的に学修し、生徒の実態、学校経営及び教育活動の特色を理解することができる。また、大学で学んだ教科や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を各教科や教科外活動の指導場面で実践するための基礎を修得する。</p>							
【授業計画】							
<p>題目と授業の内容</p> <p>1 中学校教員免許取得希望者は、10日間（2週間）の教育実習に引き続き、更に5日間（1週間）の実習を行うこととする。</p> <p>2 観察及び参加並びに教育実習校の理解に関する事項</p> <p>（1）生徒との関わりを通して、学級や生徒の実態を理解し課題を把握することができる。</p> <p>（2）指導教員等が実施する授業を視点を持って観察することができる。また、事実に即して記録し分析することもできる。</p> <p>（3）教育実習校の学校運営について、学校経営方針や特色ある教育活動とそれらを実施するための組織体制について理解できる。</p> <p>（4）学級担任や教科担任等の実務を理解できる。</p> <p>3 学習指導及び学級経営に関する事項</p> <p>（1）授業について教材研究をしっかり行い、学習指導要領及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し授業を実践することができる。</p> <p>（2）指導教員等の授業を参観することで、学習指導に必要な基礎的技術（話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成など）の効果的な活用を観察し、自らの授業でも適切な場面で情報機器など効果的に活用できる。</p> <p>（3）担任が行う朝や終了時のショートホームルーム（SHR）また、学級日誌や生活日誌など生徒との関わりを観察し、学級担任の役割と職務内容について実地に即して理解し、補助的な役割を担うことができる。</p> <p>（4）教科指導以外の様々な活動の場面で適切に生徒と関わるすることができる。</p>							
【テキスト】 教育実習の手引き、資料プリント							
<p>【参考書・参考資料等】 授業中に資料プリントを適宜配布する。</p> <p>中学校学習指導要領解説「数学」「技術・家庭」、高等学校学習指導要領解説「工業」</p>							
<p>【学生に対する評価】</p> <p>教育実習校から送られてくる「教育実習成績評価表」、レポート「教育実習を終えて」の評価などを総合的に評価する。</p>							

教科番号	6547	授業科目名： 教職実践演習（中・高）				
開講期間	後期	単位数：2単位 担当教員名： 教科担当教員：岩橋 法雄・中菌 政彦				
科 目	教職に関する科目（教職実践演習）					
履修時期	4 年次後期	履修履歴の把握	○	学校現場の意見聴取	○	
受講者数 30 人						
【教員の連携・協力体制】 ・教職課程委員会を基軸に教職専任教員と教科担当教員が連携・協力して学生の指導にあたる。 ・授業計画の項目、第10回目から第13回目の講義では、教職専任教員・教科担当教員・実習協力校の教員がチームティーチングを編成し学生の指導にあたる。 ・「履修カルテ」を基に、学生個人の修学状況を把握し、さらには個性や動向についての知見を教職実践演習に携わる全教員が共有して学生の指導にあたる。						
【授業の到達目標及びテーマ】 変化の激しい時代の学校教育においては、生徒の興味関心等に基づき、生徒自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成することが求められている。 このために、教職を目指す者に最新の教育に関する動向等を踏まえつつ、教職の意義や教員の役割を再確認させ、教員の具体的職務内容や学校現場の実態等について理解を深めさせ、教科指導や生徒指導等に関する実践的指導力の定着を図るとともに、教員としての資質能力の向上を図る総合的な実践を行う。						
【授業の概要】 実践的な体験を重視する観点から本講座は、教職経験のある複数の教職専任及び教科専任の教員が担当し、授業内容をいかに実際の指導に活かすかという視点に立った、具体的な課題に沿って演習形式で進めていく。						
授業計画						
回数	授 業 内 容				予習、 復習	
1	イントロダクション（ガイダンス）、大学における本講座「教職実践演習」の位置づけを確認する。				60 分 60 分	
2	教育実習での経験から得た教職の意義、教員の役割、職務内容等は何かを視点（使命感・責任感・教育的愛情等）に沿ってグループ討論し、教師に求められる具体的資質能力について発表する。				90 分 60 分	
3	学校の一員として、上司・同僚教師・職員との関係構築法についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、新任教師として対応の具体について疑似体験）				60 分 90 分	
4	教員として、保護者や地域関係者との人間関係の構築法についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、学級 PTA の企画・運営やモニターペアレント等への対応の具体について疑似体験）				90 分 60 分	
5	生徒の集会や保護者会における教師のスピーチの在り方をロールプレイングしながら習得する。（特に、全校朝会や学級 PTA におけるスピーチをテーマにそって疑似体験）				60 分 90 分	
6	教員として、生徒との人間関係の構築についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、反社会的行動の生徒や校則違反生徒等への対応の具体について疑似体験）				60 分 90 分	
7	教員として、生徒との人間関係の構築についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、不登校生徒への対応の具体について疑似体験）				90 分 60 分	
8	学級経営の意義を理解し、実際に中学校・高等学校の学級経営案を作成し、グループ討論を行う。（鹿児島第一中学校・高等学校との連携）				60 分 90 分	
9	現在の中学校・高等学校の様子を実際に見学し、学校現場の責任者より学校教育の課題等について講話を聞く。（鹿児島第一中学校・高等学校との連携）				60 分 90 分	
10	中学校の「技術・家庭科」「数学」の学習指導の実際を自作指導案に基づき展開し、グループ討論を行う。				90 分 60 分	
11	同上				90 分 60 分	

12	高等学校の「数学」、「情報」、「工業」の学習指導の実際を自作指導案に基づき展開し、グループ討論を行う。	90 分 60 分
13	同上	90 分 60 分
14	教科の指導力とは何かをグループで討論し、今の自分に備わっている資質能力や不足している資質能力についてまとめる。	90 分 60 分
15	今求められている教師の資質能力とは何かを本講座の全体を振り返りながらまとめる。	90 分 60 分
【テキスト】：配布資料		
【参考書・参考資料等】：特になし		
【成績評価基準・方法】：授業への参加状況。学習状況（意欲、協調性）等から教員として必要な資質能力の修得を総合的に評価する。複数の教員により、学校現場の視点も加味して多面的な評価を行う。		